

PS2 版 DQ5 リカバリーTA 対戦

文責：root3

・ゲームの概要

毎年恒例となっているリカバリーTAを、今回は大運動会の企画内で行います。

リカバリーTAとは、予め用意されたセーブデータを用いて、提示されたクリア条件を満たすまでのタイムを競う競技です（セーブデータとクリア条件のセットを「問題」と呼びます）。事前にチャートを作っておき、最初から最後までを競うRTAとは異なり、プレイヤーにはどのようなセーブデータやクリア条件が提示されるかは知らされず、その場で考え、実行する必要があります。そのためゲームの知識はもちろん、アドリブ性や即座に戦略を構築する力が試されます。

・ルール

- PS2 版のドラゴンクエスト 5 を使用します。
- 問題は 1 問です。問題には制限時間が設けられており、制限時間内にクリアできなかった場合はリタイアとなります。
- 結果に応じて以下のように点数を配分します。
 - ・両チームクリア：1 位のチームに 70 点、2 位のチームに 30 点
 - ・片方のチームのみクリア：クリアしたチームに 100 点、リタイアしたチームに 0 点
 - ・両チームリタイア：両チームに 50 点
- 制限時間とは別に、実際のプレイの前に問題の内容を把握する時間があります。これを「調査時間」と呼びます。調査時間はクリアタイムに含まれません。
- プレイヤーには問題の調査時間が始まる前に問題データの一部をまとめた紙面を配布します。これを適宜参照しながらプレイを行っても良いものとします。
- 調査時間終了後、プレイヤーは任意のタイミングでリセットボタンを押して本番を始めます。本番中のセーブ、ロードは自由ですが、調査時間中に作成したデータのロードは認めません。タイムは調査時間終了時から測定します。
- 以下の行為を禁止します。
 - ・アイテム増殖技
 - ・アイテム空売り技
 - ・ディストレイを開けて使う技
 - ・カジノでのスロットの使用（乱数調整しているかの判別が難しいため）これら以外の技は原則使用可能ですが、新種の強力な技が発見された場合禁止することがあります（その場合、判明した時点で公式サイト、口頭で告知致します）。ただし問題中に発見

された技であればどんなに強力な技であっても使用可能とします。

- 攻略本、メモなどの持ち込みは自由です。また連射コントローラーや電卓など、ゲームに直接影響を与えないものの使用もできます。
- プレイ中、他プレイヤーのプレイを見てもかまいません（調査時間中に関しては、プレイヤーの間に仕切りを設けているため他プレイヤーのプレイを見ることはできません）。また、駆け引きなどを目的とした発言も自由です。ただし、
 - ・他人にアドバイスを求める行為
 - ・ゲームとは関係のない発言
 - ・必要以上に大声の発言は認めません。

・プレイヤーのコメント

えぐち（赤組）	2006年入学。まだ学生らしい。未知のセーブデータを見るとつい今後の方策を考えてしまうリカバリーTA脳。
イリアス（白組）	大学院修士2年生。DQ5ReTAの問題を作った経験はないが、問題を解いた数だけなら恐らく現時点では最多。